

平成 17 年国勢調査
従業地・通学地集計結果(その2)
～名古屋の昼間人口～

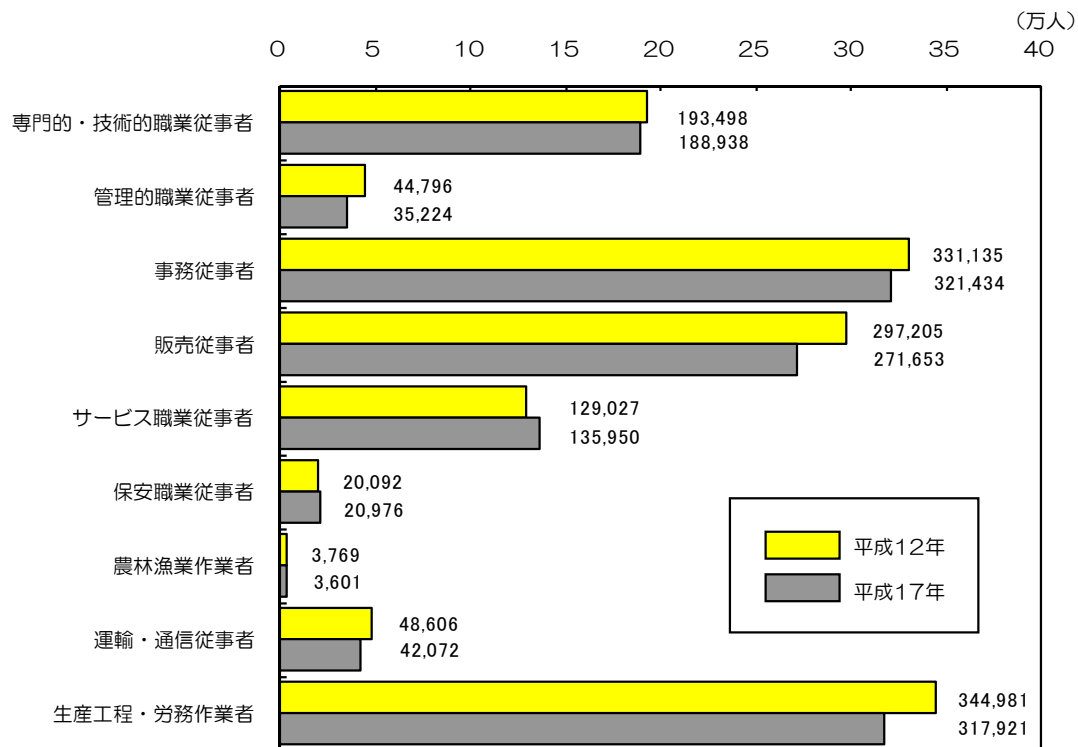
I 従業地による職業別就業者数は、「事務従事者」が最も多い

平成 17 年 10 月 1 日現在、本市を従業地とする 15 歳以上就業者の数は 1,361,680 人であり、職業（大分類）別にみると、最も多いのは「事務従事者」の 321,434 人で、15 歳以上就業者の 23.6%を占めている。12 年ではトップであった「生産工程・労務作業者」は 317,921 人（同 23.3%）で 2 番目となり、次いで「販売従事者」の 271,653 人（同 19.9%）と続いている。

前回調査の平成 12 年と比較すると、総数では 4.5%の減となり、職業（大分類）別では、「サービス職業従事者」（5.4%増）及び「保安職業従事者」（4.4%増）は増加したものの、他の職業は全て減少し、中でも「管理的職業従事者」は 21.4%減、「農林漁業作業者」は 13.4%減と 2 桁台の減少となっている。

【付表 1、図 1】

図 1 従業地による職業（大分類）別就業者数の推移



付表１ 従業地による職業（大分類）別就業者数の推移

各年10月1日

職 業（大分類）	就 業 者 数			職 業 別 割 合（％）			増 減 数		増 減 率（％）	
	平成7年	平成12年	平成17年	平成7年	平成12年	平成17年	7～12年	12～17年	7～12年	12～17年
総 数	1,469,916	1,425,173	1,361,680	100.0	100.0	100.0	-44,743	-63,493	-3.0	-4.5
専門的・技術的職業従事者	186,787	193,498	188,938	12.7	13.6	13.9	6,711	-4,560	3.6	-2.4
管理的職業従事者	71,811	44,796	35,224	4.9	3.1	2.6	-27,015	-9,572	-37.6	-21.4
事務従事者	342,897	331,135	321,434	23.3	23.2	23.6	-11,762	-9,701	-3.4	-2.9
販売従事者	298,587	297,205	271,653	20.3	20.9	19.9	-1,382	-25,552	-0.5	-8.6
サービス職業従事者	119,539	129,027	135,950	8.1	9.1	10.0	9,488	6,923	7.9	5.4
保安職業従事者	18,769	20,092	20,976	1.3	1.4	1.5	1,323	884	7.0	4.4
農林漁業作業者	4,953	3,769	3,601	0.3	0.3	0.3	-1,184	-168	-23.9	-4.5
運輸・通信従事者	54,029	48,606	42,072	3.7	3.4	3.1	-5,423	-6,534	-10.0	-13.4
生産工程・労務作業者	368,257	344,981	317,921	25.1	24.2	23.3	-23,276	-27,060	-6.3	-7.8

注）総数には分類不能の職業を含む。

Ⅱ 「事務従事者」、「販売従事者」及び「専門的・技術的職業従事者」では、中区を従業地とする就業者が圧倒的に多い。

本市の主な職業（大分類）別の就業者数を区別にみると、従業地ベースでは「生産工程・労務作業者」では港区、中川区、中区の順に多くなっているが、「事務従事者」、「販売従事者」、「専門的・技術的職業従事者」及び「サービス職業従事者」では中区が圧倒的に多く、2位は全て中村区が占めている。

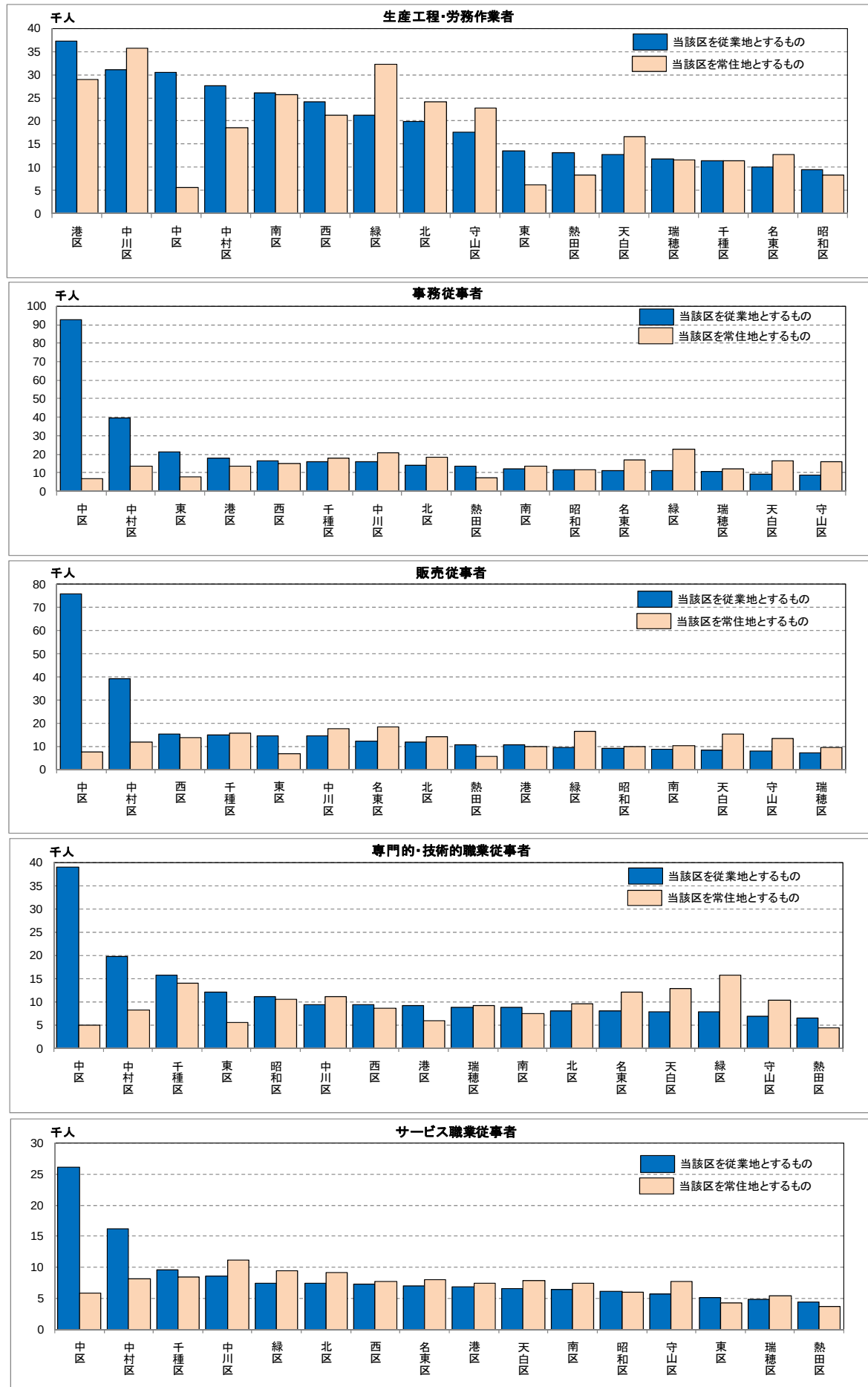
また、「生産工程・労務作業者」以外の職業では、3位以下の従業地ベースの就業者数は各区ともほぼ同程度となっており、常住地ベースでは主な職業別でいずれも3位以内となっている緑区も、従業地では5位～13位と他区との差はそれほどない。

【付表2、図2】

付表２ 従業地・常住地による主な職業（大分類）、区別就業者数

職業大分類別	区分	千種区	東区	北区	西区	中村区	中区	昭和区	瑞穂区	熱田区	中川区	港区	南区	守山区	緑区	名東区	天白区
総 数	従業	73,494	71,858	68,375	80,630	154,693	285,032	51,922	47,098	53,449	90,027	96,698	69,451	53,711	62,865	52,955	49,422
	常住	74,804	34,075	83,083	73,361	66,681	34,290	51,034	52,454	32,363	107,608	75,454	71,082	78,559	105,984	74,329	75,219
生産工程・ 労務作業者	従業	11,349	13,503	19,913	24,186	27,724	30,587	9,500	11,784	13,157	31,123	37,200	26,156	17,633	21,297	10,024	12,785
	常住	11,420	6,163	24,062	21,257	18,630	5,508	8,323	11,518	8,282	35,755	28,917	25,796	22,817	32,366	12,758	16,576
事務従事者	従業	16,140	21,168	13,820	16,328	39,774	92,784	11,725	10,529	13,447	15,935	17,679	12,246	8,494	10,915	11,125	9,325
	常住	17,769	7,841	18,320	15,098	13,306	6,822	11,377	12,000	7,424	20,861	13,393	13,513	15,995	22,493	16,936	16,287
販売従事者	従業	14,948	14,497	11,792	15,392	39,350	75,898	9,287	7,174	10,774	14,431	10,601	8,933	8,071	9,677	12,410	8,418
	常住	15,869	6,905	14,169	13,752	11,996	7,714	10,105	9,641	5,817	17,524	9,891	10,307	13,297	16,624	18,550	15,258
専門的・技術的 職業従事者	従業	15,789	12,156	8,104	9,451	19,793	38,940	11,112	8,882	6,467	9,454	9,202	8,792	6,981	7,849	8,103	7,863
	常住	14,024	5,590	9,511	8,692	8,242	5,046	10,636	9,133	4,340	11,223	5,954	7,447	10,330	15,692	12,102	12,775
サ ー ビ ス 職業従事者	従業	9,654	5,148	7,425	7,223	16,158	26,046	6,175	4,841	4,443	8,642	6,902	6,473	5,678	7,485	7,015	6,642
	常住	8,395	4,343	9,167	7,719	8,198	5,809	6,003	5,450	3,636	11,112	7,406	7,427	7,716	9,438	7,972	7,859
その他(分類不能 の職業を含む)	従業	5,614	5,386	7,321	8,050	11,894	20,777	4,123	3,888	5,161	10,442	15,114	6,851	6,854	5,642	4,278	4,389
	常住	7,327	3,233	7,854	6,843	6,309	3,391	4,590	4,712	2,864	11,133	9,893	6,592	8,404	9,371	6,011	6,464

図2 従業地・常住地による主な職業（大分類）、区別就業者数



Ⅲ 生産工程・労務作業者は55～59歳が最も多い

本市を従業地とする就業者数を年齢別にみると、全職業では「30～34歳」が12.6%と最も多く、次いで「55～59歳」が11.5%となっている。

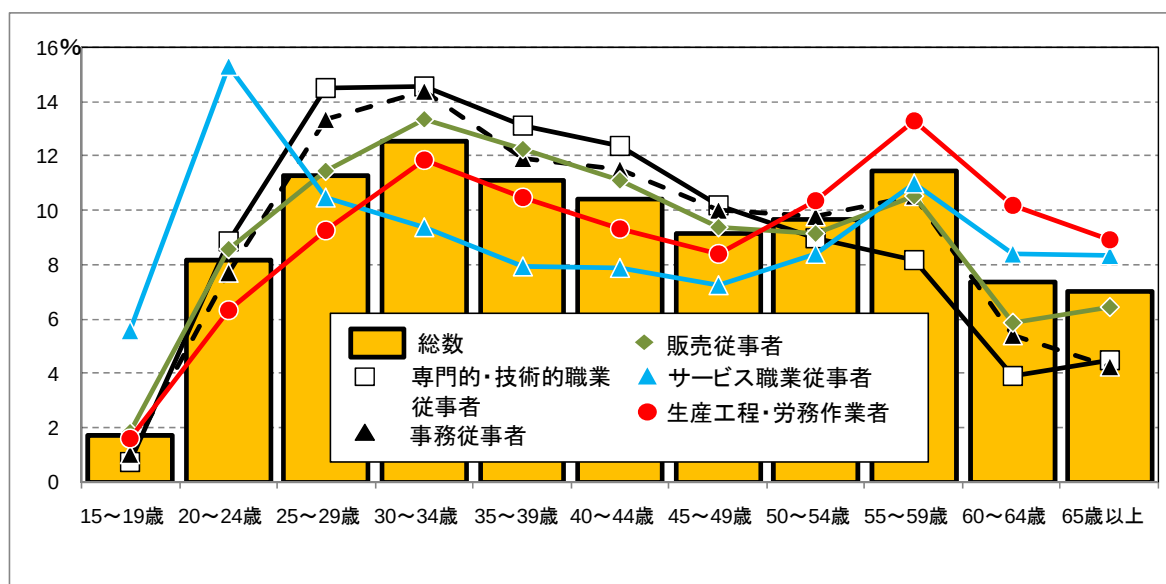
主な職業別にみると、「専門的・技術的職業従事者」は、64歳までの区分では「30～34歳」をピークに、年齢が高くなるほど割合が低くなっているが、その他の職業では「55～59歳」の構成割合も10%以上と割合がやや高くなっており、特に「生産工程・労務作業者」は同階層の構成割合が最も高くなっている。また、「サービス職業従事者」については「20～24歳」が最も高くなっている。

【付表3、図3】

付表3 従業地による主な職業（大分類）別、年齢階層別就業者数、構成割合

		就業者数(人)						構成割合(年齢総数=100%)					
		総数	うち、主な職業別の内訳					総数	うち、主な職業別の内訳				
			専門的・技術的職業従事者	事務従事者	販売従事者	サービス職業従事者	生産工程・労務作業者		専門的・技術的職業従事者	事務従事者	販売従事者	サービス職業従事者	生産工程・労務作業者
総数		1,361,680	188,938	321,434	271,653	135,950	317,921	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
年齢階層別	15～19歳	23,469	1,357	3,306	4,930	7,571	5,071	1.7	0.7	1.0	1.8	5.6	1.6
	20～24歳	111,568	16,790	24,753	23,359	20,863	20,055	8.2	8.9	7.7	8.6	15.3	6.3
	25～29歳	153,664	27,464	43,034	31,164	14,234	29,417	11.3	14.5	13.4	11.5	10.5	9.3
	30～34歳	171,334	27,583	46,288	36,292	12,767	37,682	12.6	14.6	14.4	13.4	9.4	11.9
	35～39歳	151,072	24,840	38,312	33,393	10,811	33,355	11.1	13.1	11.9	12.3	8.0	10.5
	40～44歳	142,041	23,360	37,079	30,139	10,739	29,618	10.4	12.4	11.5	11.1	7.9	9.3
	45～49歳	125,038	19,285	32,190	25,501	9,830	26,803	9.2	10.2	10.0	9.4	7.2	8.4
	50～54歳	131,617	16,999	31,381	24,817	11,421	32,870	9.7	9.0	9.8	9.1	8.4	10.3
	55～59歳	156,188	15,397	33,848	28,650	14,939	42,302	11.5	8.1	10.5	10.5	11.0	13.3
	60～64歳	99,960	7,342	17,482	15,881	11,420	32,420	7.3	3.9	5.4	5.8	8.4	10.2
	65歳以上	95,729	8,521	13,761	17,527	11,355	28,328	7.0	4.5	4.3	6.5	8.4	8.9

図3 従業地による主な職業（大分類）別就業者の年齢階層別構成割合



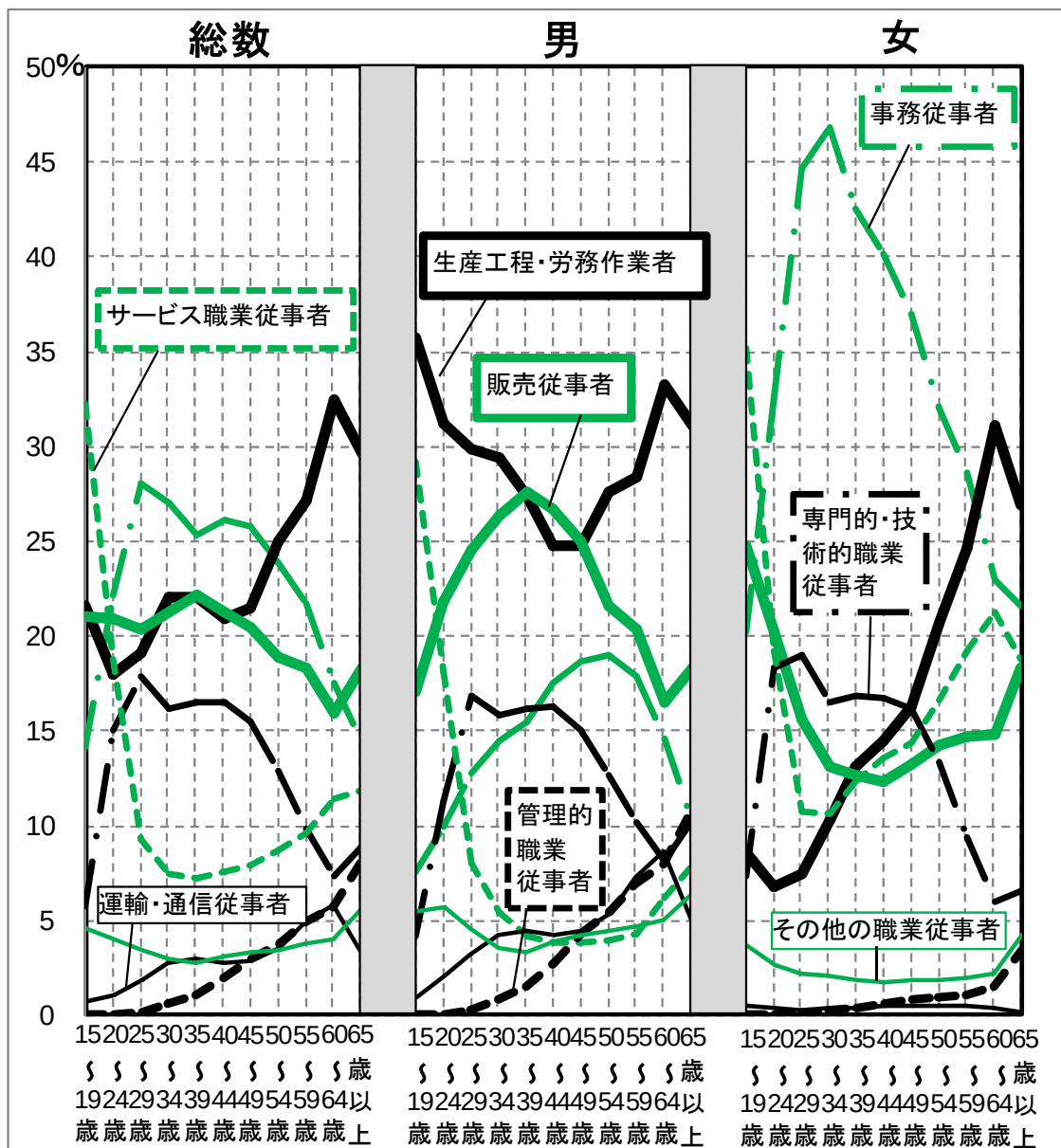
Ⅳ 30～34 歳の女性就業者では半数近くが 事務従事者

本市を従業地とする各年齢階層別の就業者の職業別構成割合を男女別にみると、男性では「15～34 歳」までは「生産工程・労務作業者」が最も多いが、次第に「販売従事者」の割合が上昇し、「35～49 歳」までは同従事者がトップとなっている。その後は 65 歳以上まで再び「生産工程・労務作業者」がトップとなっている。

女性では「20～59 歳」まで「事務従事者」がトップを占めており、特に「30～34 歳」では半数近くを占めている。一方「生産工程・労務作業者」の比率は 20 歳以降年齢とともに上昇し、60 歳以上ではトップとなっている。

【付表4、図4】

図4 従業地による年齢5歳階級別就業者の主な職業（大分類）別構成割合



付表 4 従業員による職業（大分類）、年齢（5 歳階級）、男女別 15 歳以上就業者数、構成割合

区分	男女別	年齢階層 区分	総 数	専 門 的 ・ 技 術 的 業 者 従 事 者	管 理 的 業 者 従 事 者	事 務 者 従 事 者	販 売 者 従 事 者	サ ー ビ ス 一 職 事 者 従 事 者	運 輸 ・ 信 信 者 従 事 者	生 産 業 従 事 者	そ の 他 の 職 事 者 従 事 者
実数（人）	総数	総 数	1,361,680	188,938	35,224	321,434	271,653	135,950	42,072	317,921	48,488
		15～19歳	23,469	1,357	1	3,306	4,930	7,571	165	5,071	1,068
		20～24歳	111,568	16,790	49	24,753	23,359	20,863	1,227	20,055	4,472
		25～29歳	153,664	27,464	287	43,034	31,164	14,234	2,790	29,417	5,274
		30～34歳	171,334	27,583	958	46,288	36,292	12,767	4,648	37,682	5,116
		35～39歳	151,072	24,840	1,626	38,312	33,393	10,811	4,511	33,355	4,224
		40～44歳	142,041	23,360	2,743	37,079	30,139	10,739	3,957	29,618	4,406
		45～49歳	125,038	19,285	3,678	32,190	25,501	9,830	3,616	26,803	4,135
		50～54歳	131,617	16,999	4,892	31,381	24,817	11,421	4,669	32,870	4,568
		55～59歳	156,188	15,397	7,558	33,848	28,650	14,939	7,628	42,302	5,866
		60～64歳	99,960	7,342	5,684	17,482	15,881	11,420	5,743	32,420	3,988
		65歳以上	95,729	8,521	7,748	13,761	17,527	11,355	3,118	28,328	5,371
	男	総 数	816,849	109,802	31,312	125,102	189,498	51,355	39,973	233,429	36,378
		15～19歳	11,303	466	-	852	1,926	3,298	109	4,033	619
		20～24歳	51,222	5,782	33	5,107	11,148	9,253	1,035	15,977	2,887
		25～29歳	80,283	13,539	241	10,227	19,716	6,404	2,569	23,920	3,667
		30～34歳	104,845	16,593	811	15,184	27,559	5,721	4,386	30,838	3,753
		35～39歳	95,711	15,494	1,405	14,775	26,412	4,024	4,280	26,127	3,194
		40～44歳	87,922	14,308	2,422	15,343	23,491	3,396	3,725	21,781	3,456
		45～49歳	76,646	11,471	3,300	14,297	19,126	2,888	3,373	18,931	3,260
		50～54歳	82,166	10,412	4,440	15,588	17,761	3,225	4,438	22,634	3,668
		55～59歳	100,939	10,253	6,951	18,039	20,532	4,348	7,373	28,686	4,757
		60～64歳	65,128	5,252	5,165	9,500	10,717	4,026	5,617	21,611	3,240
		65歳以上	60,684	6,232	6,544	6,190	11,110	4,772	3,068	18,891	3,877
	女	総 数	544,831	79,136	3,912	196,332	82,155	84,595	2,099	84,492	12,110
		15～19歳	12,166	891	1	2,454	3,004	4,273	56	1,038	449
		20～24歳	60,346	11,008	16	19,646	12,211	11,610	192	4,078	1,585
		25～29歳	73,381	13,925	46	32,807	11,448	7,830	221	5,497	1,607
		30～34歳	66,489	10,990	147	31,104	8,733	7,046	262	6,844	1,363
		35～39歳	55,361	9,346	221	23,537	6,981	6,787	231	7,228	1,030
		40～44歳	54,119	9,052	321	21,736	6,648	7,343	232	7,837	950
		45～49歳	48,392	7,814	378	17,893	6,375	6,942	243	7,872	875
		50～54歳	49,451	6,587	452	15,793	7,056	8,196	231	10,236	900
		55～59歳	55,249	5,144	607	15,809	8,118	10,591	255	13,616	1,109
		60～64歳	34,832	2,090	519	7,982	5,164	7,394	126	10,809	748
		65歳以上	35,045	2,289	1,204	7,571	6,417	6,583	50	9,437	1,494
構成割合（％）	総数	総 数	100.0	13.9	2.6	23.6	19.9	10.0	3.1	23.3	3.6
		15～19歳	100.0	5.8	0.0	14.1	21.0	32.3	0.7	21.6	4.6
		20～24歳	100.0	15.0	0.0	22.2	20.9	18.7	1.1	18.0	4.0
		25～29歳	100.0	17.9	0.2	28.0	20.3	9.3	1.8	19.1	3.4
		30～34歳	100.0	16.1	0.6	27.0	21.2	7.5	2.7	22.0	3.0
		35～39歳	100.0	16.4	1.1	25.4	22.1	7.2	3.0	22.1	2.8
		40～44歳	100.0	16.4	1.9	26.1	21.2	7.6	2.8	20.9	3.1
		45～49歳	100.0	15.4	2.9	25.7	20.4	7.9	2.9	21.4	3.3
		50～54歳	100.0	12.9	3.7	23.8	18.9	8.7	3.5	25.0	3.5
		55～59歳	100.0	9.9	4.8	21.7	18.3	9.6	4.9	27.1	3.8
		60～64歳	100.0	7.3	5.7	17.5	15.9	11.4	5.7	32.4	4.0
		65歳以上	100.0	8.9	8.1	14.4	18.3	11.9	3.3	29.6	5.6
	男	総 数	100.0	13.4	3.8	15.3	23.2	6.3	4.9	28.6	4.5
		15～19歳	100.0	4.1	0.0	7.5	17.0	29.2	1.0	35.7	5.5
		20～24歳	100.0	11.3	0.1	10.0	21.8	18.1	2.0	31.2	5.6
		25～29歳	100.0	16.9	0.3	12.7	24.6	8.0	3.2	29.8	4.6
		30～34歳	100.0	15.8	0.8	14.5	26.3	5.5	4.2	29.4	3.6
		35～39歳	100.0	16.2	1.5	15.4	27.6	4.2	4.5	27.3	3.3
		40～44歳	100.0	16.3	2.8	17.5	26.7	3.9	4.2	24.8	3.9
		45～49歳	100.0	15.0	4.3	18.7	25.0	3.8	4.4	24.7	4.3
		50～54歳	100.0	12.7	5.4	19.0	21.6	3.9	5.4	27.5	4.5
		55～59歳	100.0	10.2	6.9	17.9	20.3	4.3	7.3	28.4	4.7
		60～64歳	100.0	8.1	7.9	14.6	16.5	6.2	8.6	33.2	5.0
		65歳以上	100.0	10.3	10.8	10.2	18.3	7.9	5.1	31.1	6.4
	女	総 数	100.0	14.5	0.7	36.0	15.1	15.5	0.4	15.5	2.2
		15～19歳	100.0	7.3	0.0	20.2	24.7	35.1	0.5	8.5	3.7
		20～24歳	100.0	18.2	0.0	32.6	20.2	19.2	0.3	6.8	2.6
		25～29歳	100.0	19.0	0.1	44.7	15.6	10.7	0.3	7.5	2.2
		30～34歳	100.0	16.5	0.2	46.8	13.1	10.6	0.4	10.3	2.0
		35～39歳	100.0	16.9	0.4	42.5	12.6	12.3	0.4	13.1	1.9
		40～44歳	100.0	16.7	0.6	40.2	12.3	13.6	0.4	14.5	1.8
		45～49歳	100.0	16.1	0.8	37.0	13.2	14.3	0.5	16.3	1.8
		50～54歳	100.0	13.3	0.9	31.9	14.3	16.6	0.5	20.7	1.8
		55～59歳	100.0	9.3	1.1	28.6	14.7	19.2	0.5	24.6	2.0
		60～64歳	100.0	6.0	1.5	22.9	14.8	21.2	0.4	31.0	2.1
		65歳以上	100.0	6.5	3.4	21.6	18.3	18.8	0.1	26.9	4.3

V すべての職業において就業者は流入超過

本市を従業地とする就業者数は、すべての職業において本市を常住地とする就業者数を上回っており、流入超過の状態となっている。

流入超過数を職業（大分類）別にみると、「事務従事者」が91,999人で最も大きく、次いで「販売従事者」が74,234人、「専門的・技術的職業従事者」が38,201人の順となっている。

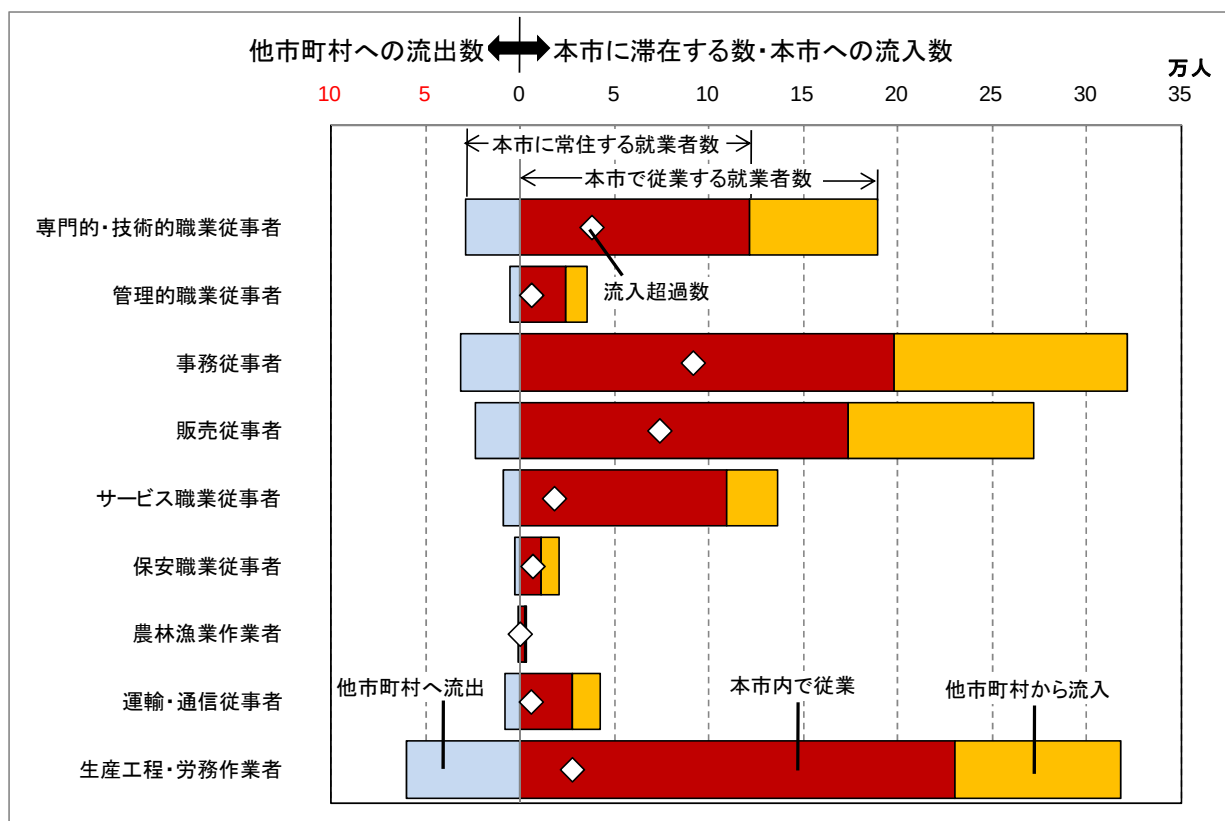
昼夜間就業者比率をみると、最も高いのは「保安職業従事者」で148.5、次いで「事務従事者」が140.1、「販売従事者」が137.6となっている。

【付表5、図5】

付表5 常住地・従業地による職業（大分類）別就業者数および流入超過数等

職業大区分	本市に常住し 本市内で従業 している A	他市区町村に 常住し本市で 従業している B	本市に常住し 他市町村で 従業している C	本市で従業 する就業者 D=A+B	本市に常住 する就業者 E=A+C	流入 超過数 F=B-C	昼夜間就 業者比率 D/E*100
総 数	920,010	441,670	170,370	1,361,680	1,090,380	271,300	124.9
専門的・技術的職業従事者	121,818	67,120	28,919	188,938	150,737	38,201	125.3
管理的職業従事者	24,000	11,224	5,068	35,224	29,068	6,156	121.2
事務従事者	198,274	123,160	31,161	321,434	229,435	91,999	140.1
販売従事者	173,781	97,872	23,638	271,653	197,419	74,234	137.6
サービス職業従事者	109,267	26,683	8,383	135,950	117,650	18,300	115.6
保安職業従事者	11,365	9,611	2,761	20,976	14,126	6,850	148.5
農林漁業作業	3,208	393	333	3,601	3,541	60	101.7
運輸・通信従事者	27,937	14,135	8,211	42,072	36,148	5,924	116.4
生産工程・労務作業	230,246	87,675	59,902	317,921	290,148	27,773	109.6
分類不能の職業	20,114	3,797	1,994	23,911	22,108	1,803	108.2

図5 常住地・従業地による職業（大分類）別就業者数及び流入超過数

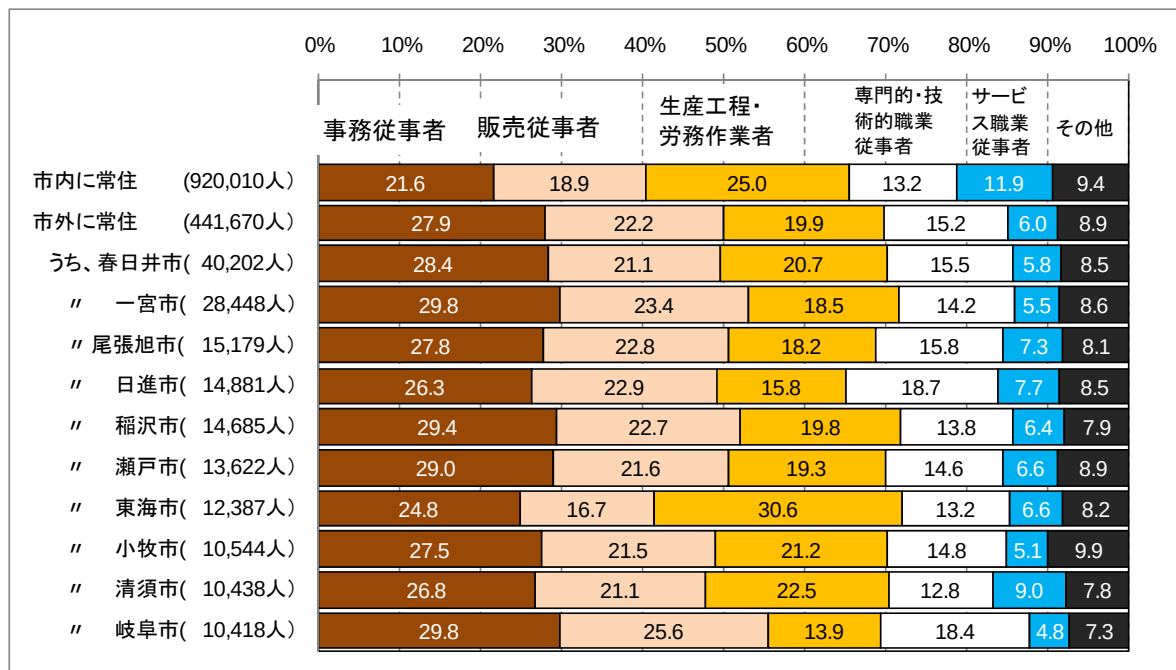


Ⅵ 流入先市町村のトップは全職業とも春日井市

他市町村から本市に流入する就業者を職業（大分類）別にみると、総数では「事務従事者」が27.9%と最も多く、市内常住者ではトップの「生産工程・労務作業者」は3番目となっている。流入先では全ての職業で春日井市がトップとなっており、次いで一宮市が「農林漁業作業者」以外では全て2位となっている。

また、流入数の上位10位市町村のほとんどが「事務従事者」の流入割合がトップとなっているが、東海市からの流入については3割以上が「生産工程・労務作業者」となっており、同職業別でも3位となっている。【図6、付表6】

図6 本市を従業地とする就業者の常住地(流入数上位10市)別、職業（大分類）別構成割合



付表6 職業（大分類）別、流入数の上位5位市別本市に流入する就業者数

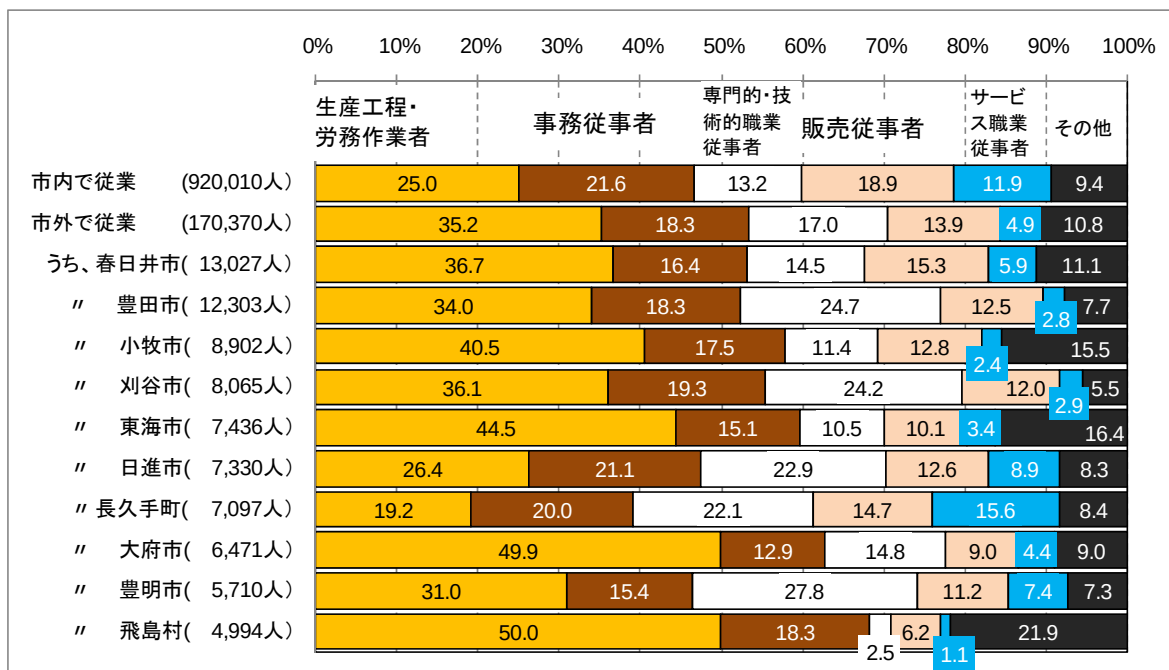
順位	職業総数 (分類不能の職業を含む)		事務従事者		販売従事者		生産工程・ 労務作業者		専門的・技術的 職業従事者	
	市町村名	流入数	市町村名	流入数	市町村名	流入数	市町村名	流入数	市町村名	流入数
-	流入総数	441,670	流入総数	123,160	流入総数	97,872	流入総数	87,675	流入総数	67,120
①	春日井市	40,202	春日井市	11,417	春日井市	8,494	春日井市	8,323	春日井市	6,242
②	一宮市	28,448	一宮市	8,469	一宮市	6,652	一宮市	5,274	一宮市	4,031
③	尾張旭市	15,179	稲沢市	4,324	尾張旭市	3,458	東海市	3,786	日進市	2,784
④	日進市	14,881	尾張旭市	4,213	日進市	3,412	稲沢市	2,903	尾張旭市	2,405
⑤	稲沢市	14,685	瀬戸市	3,954	稲沢市	3,331	尾張旭市	2,764	稲沢市	2,020
順位	サービス職業 従事者		運輸・通信従事者		管理的職業 従事者		保安職業従事者		農林漁業作業者	
	市町村名	流入数	市町村名	流入数	市町村名	流入数	市町村名	流入数	市町村名	流入数
-	流入総数	26,683	流入総数	14,135	流入総数	11,224	流入総数	9,611	流入総数	393
①	春日井市	2,322	春日井市	1,073	春日井市	985	春日井市	949	春日井市	28
②	一宮市	1,572	一宮市	869	一宮市	547	一宮市	716	稲沢市	21
③	日進市	1,148	東海市	615	日進市	507	岡崎市	387	一宮市、 尾張旭市	19
④	尾張旭市	1,115	稲沢市	441	尾張旭市	396	瀬戸市	370	尾張旭市	
⑤	稲沢市	940	豊明市	428	岡崎市	341	尾張旭市	299	豊田市、豊明 市、日進市	14

Ⅶ 専門的・技術的職業従事者の流出先の10%以上が豊田市

本市から他市町村に流出する就業者を職業（大分類）別にみると、総数では「生産工程・労務作業者」が全体の3分の1以上となっている。流入先別では春日井市が4つの職業でトップとなっている他、「専門的・技術的職業従事者」では豊田市が、「サービス職業従事者」では長久手町が、「運輸・通信従事者」では飛島村が、それぞれ全体の10%以上を占めトップとなっている。

また、流出数の上位10位市町村のほとんどが「生産工程・労務作業者」の流出割合がトップとなっているが、長久手町への流出者については「専門的・技術的職業従事者」が最も多くなっている。
【図7、付表7】

図7 本市を常住地とする就業者の従業地（流出数上位10市町村）別、職業（大分類）別構成割合



付表7 職業（大分類）別、流出数の上位5位市町村別本市から流出する就業者数

順位	職業総数 (分類不能の職業を含む)		生産工程・労務作業者		事務従事者		専門的・技術的職業従事者		販売従事者	
	市町村名	流入数	市町村名	流入数	市町村名	流出数	市町村名	流入数	市町村名	流入数
-	流出総数	170,370	流出総数	59,902	流出総数	31,161	流出総数	28,919	流出総数	23,638
①	春日井市	13,027	春日井市	4,786	豊田市	2,257	豊田市	3,037	春日井市	1,995
②	豊田市	12,303	豊田市	4,178	春日井市	2,131	刈谷市	1,954	豊田市	1,543
③	小牧市	8,902	小牧市	3,602	小牧市	1,554	春日井市	1,892	小牧市	1,136
④	刈谷市	8,065	東海市	3,307	刈谷市	1,553	日進市	1,676	長久手町	1,045
⑤	東海市	7,436	大府市	3,231	日進市	1,543	豊明市	1,587	刈谷市	966
順位	サービス職業従事者		運輸・通信従事者		管理的職業従事者		保安職業従事者		農林漁業作業者	
	市町村名	流入数	市町村名	流入数	市町村名	流入数	市町村名	流入数	市町村名	流入数
-	流出総数	8,383	流出総数	8,211	流出総数	5,068	流出総数	2,761	流出総数	333
①	長久手町	1,110	飛島村	875	春日井市	364	春日井市	321	長久手町	28
②	春日井市	774	東海市	784	小牧市	301	小牧市	255	日進市	20
③	日進市	649	小牧市	725	豊田市	295	長久手町	190	稲沢市	18
④	尾張旭市	507	春日井市	575	東海市	209	常滑市	176	春日井市	17
⑤	豊明市	420	弥富町	364	大府市	143	豊田市	166	豊田市	

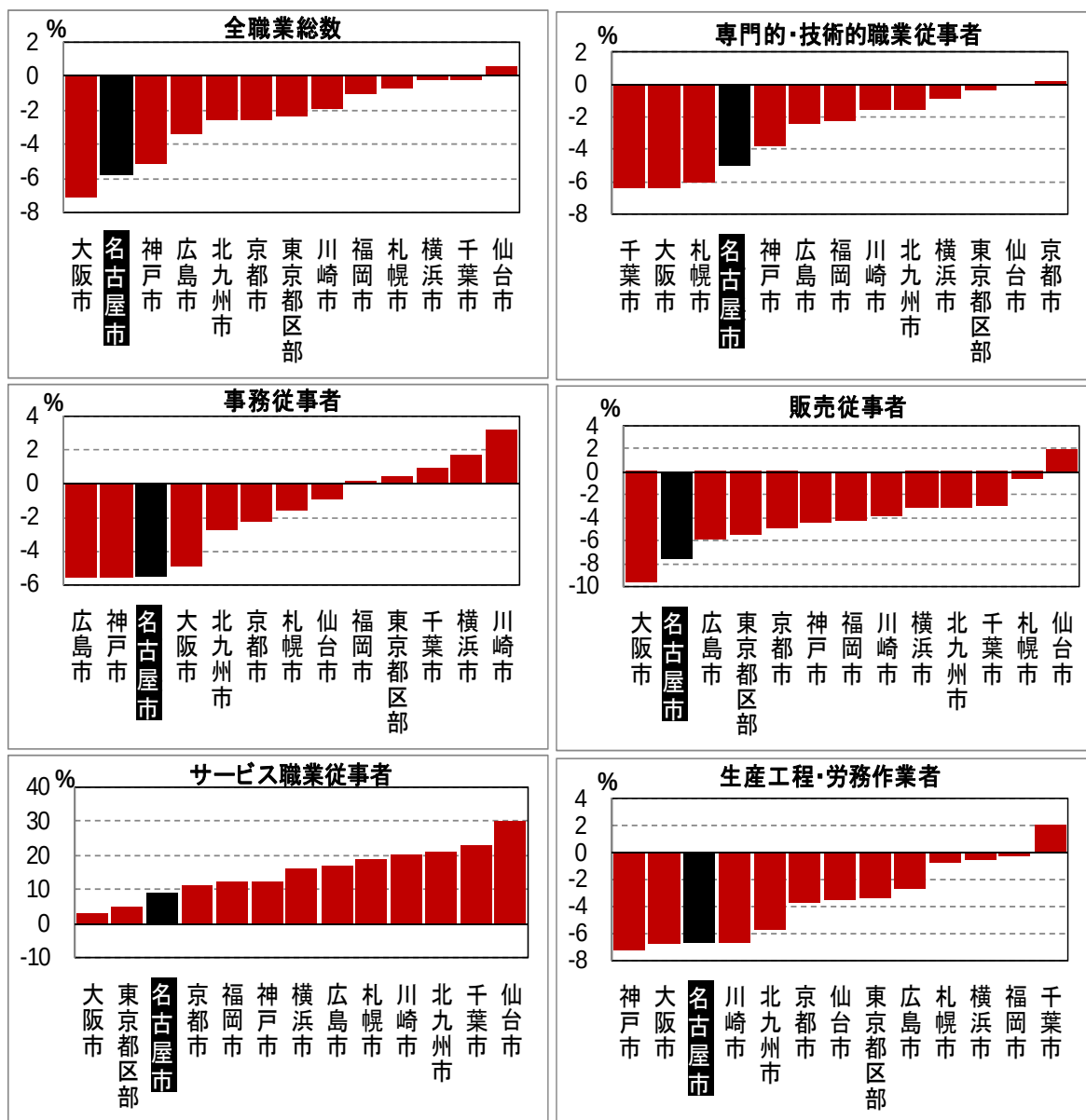
Ⅷ 「サービス職業従事者」の流入数は13大都市全てで増加

他市町村から流入する就業者数の平成 12 年～17 年の増減率を 13 大都市で比較すると、仙台市以外は全てマイナスとなっており、本市は大阪市に次いで 2 番目に大きい減少率となっている。

就業者増減率を、主な職業別にみると、「サービス職業従事者」については、全都市でプラスに寄与している。一方、「販売従事者」については仙台市を除く全ての都市で、また「生産工程・労務作業者」については千葉市を除く全ての都市でマイナスとなっている。

【図 8、付表 8】

図8 13大都市の市（区）内への流入就業者数の主な職業（大分類）別増減率
(平成12～17年)



付表 8 13 大都市の主な職業（大分類）別、流入・流出就業者数及び増減率

都市名	項 目		総 数	専 門 的 ・ 技 術 的 従 事 者	事 務 者	販 売 者	サ ー ビ ス 職 従 事 者	生 産 工 程・労 務 作 業 者	そ の 他
名古屋市	他市町村からの 流入就業者	平成12年 A	468,805	70,664	130,386	105,934	24,434	93,899	43,488
		平成17年 B	441,670	67,120	123,160	97,872	26,683	87,675	39,160
		増減率 (B-A)/A	-5.8	-5.0	-5.5	-7.6	9.2	-6.6	-10.0
	他市町村への 流出就業者	平成12年 A	153,552	26,054	26,779	22,445	6,796	54,840	16,638
平成17年 B		170,370	28,919	31,161	23,638	8,383	59,902	18,367	
増減率 (B-A)/A		11.0	11.0	16.4	5.3	23.4	9.2	10.4	
札幌市	他市町村からの 流入就業者	平成12年 A	72,110	10,910	16,057	14,013	4,484	16,644	10,002
		平成17年 B	71,621	10,246	15,790	13,920	5,319	16,527	9,819
		増減率 (B-A)/A	-0.7	-6.1	-1.7	-0.7	18.6	-0.7	-1.8
	他市町村への 流出就業者	平成12年 A	49,769	8,331	7,478	7,004	3,330	15,745	7,881
平成17年 B		55,935	8,873	8,861	7,934	3,715	18,270	8,282	
増減率 (B-A)/A		12.4	6.5	18.5	13.3	11.6	16.0	5.1	
仙台市	他市町村からの 流入就業者	平成12年 A	105,583	13,413	25,638	20,410	5,271	27,248	13,603
		平成17年 B	106,132	13,407	25,380	20,820	6,858	26,314	13,353
		増減率 (B-A)/A	0.5	0.0	-1.0	2.0	30.1	-3.4	-1.8
	他市町村への 流出就業者	平成12年 A	41,915	8,456	7,475	6,272	2,119	12,328	5,265
平成17年 B		47,270	9,237	8,897	7,125	2,893	13,483	5,635	
増減率 (B-A)/A		12.8	9.2	19.0	13.6	36.5	9.4	7.0	
千葉市	他市町村からの 流入就業者	平成12年 A	149,599	25,837	40,693	27,448	8,022	30,382	17,217
		平成17年 B	149,332	24,179	41,082	26,637	9,869	31,011	16,554
		増減率 (B-A)/A	-0.2	-6.4	1.0	-3.0	23.0	2.1	-3.9
	他市町村への 流出就業者	平成12年 A	176,592	31,765	50,591	34,296	8,776	31,471	19,693
平成17年 B		178,076	32,110	50,913	33,808	9,824	32,422	18,999	
増減率 (B-A)/A		0.8	1.1	0.6	-1.4	11.9	3.0	-3.5	
東京都 都区部	他市町村からの 流入就業者	平成12年 A	3,090,473	560,853	1,002,170	670,272	137,694	402,789	316,695
		平成17年 B	3,017,032	559,017	1,006,342	632,990	144,551	389,252	284,880
		増減率 (B-A)/A	-2.4	-0.3	0.4	-5.6	5.0	-3.4	-10.0
	他市町村への 流出就業者	平成12年 A	340,393	80,700	65,087	54,461	21,655	81,920	36,570
平成17年 B		334,921	81,883	68,848	51,812	21,775	77,227	33,376	
増減率 (B-A)/A		-1.6	1.5	5.8	-4.9	0.6	-5.7	-8.7	
横浜市	他市町村からの 流入就業者	平成12年 A	346,203	72,863	81,403	60,314	18,148	78,338	35,137
		平成17年 B	345,411	72,214	82,788	58,412	21,102	77,909	32,986
		増減率 (B-A)/A	-0.2	-0.9	1.7	-3.2	16.3	-0.5	-6.1
	他市町村への 流出就業者	平成12年 A	638,175	133,981	184,797	120,776	26,282	110,450	61,889
平成17年 B		653,121	138,998	195,273	121,126	30,303	110,669	56,752	
増減率 (B-A)/A		2.3	3.7	5.7	0.3	15.3	0.2	-8.3	
川崎市	他市町村からの 流入就業者	平成12年 A	212,897	52,985	47,366	26,507	8,811	56,191	21,037
		平成17年 B	208,932	52,137	48,868	25,477	10,586	52,475	19,389
		増減率 (B-A)/A	-1.9	-1.6	3.2	-3.9	20.1	-6.6	-7.8
	他市町村への 流出就業者	平成12年 A	335,718	71,753	93,803	64,811	20,415	57,868	27,068
平成17年 B		352,543	75,377	103,726	65,853	22,787	58,254	26,546	
増減率 (B-A)/A		5.0	5.1	10.6	1.6	11.6	0.7	-1.9	
京都市	他市町村からの 流入就業者	平成12年 A	185,283	31,908	46,924	39,480	11,188	36,401	19,382
		平成17年 B	180,582	31,976	45,855	37,533	12,469	35,034	17,715
		増減率 (B-A)/A	-2.5	0.2	-2.3	-4.9	11.4	-3.8	-8.6
	他市町村への 流出就業者	平成12年 A	99,024	21,490	20,348	18,444	5,025	23,997	9,720
平成17年 B		102,220	22,300	22,055	18,677	5,964	24,048	9,176	
増減率 (B-A)/A		3.2	3.8	8.4	1.3	18.7	0.2	-5.6	
大阪市	他市町村からの 流入就業者	平成12年 A	1,231,282	186,544	372,314	307,893	61,465	184,103	118,963
		平成17年 B	1,143,792	174,676	353,917	278,018	63,247	171,553	102,381
		増減率 (B-A)/A	-7.1	-6.4	-4.9	-9.7	2.9	-6.8	-13.9
	他市町村への 流出就業者	平成12年 A	210,749	32,383	38,065	34,086	12,139	72,342	21,734
平成17年 B		206,422	34,104	39,474	32,570	13,081	66,508	20,685	
増減率 (B-A)/A		-2.1	5.3	3.7	-4.4	7.8	-8.1	-4.8	
神戸市	他市町村からの 流入就業者	平成12年 A	179,582	28,430	46,195	33,808	10,492	40,316	20,341
		平成17年 B	170,378	27,329	43,602	32,303	11,779	37,377	17,988
		増減率 (B-A)/A	-5.1	-3.9	-5.6	-4.5	12.3	-7.3	-11.6
	他市町村への 流出就業者	平成12年 A	150,785	29,608	36,665	30,822	7,350	29,904	16,436
平成17年 B		157,036	31,462	38,633	31,172	8,794	31,710	15,265	
増減率 (B-A)/A		4.1	6.3	5.4	1.1	19.6	6.0	-7.1	
広島市	他市町村からの 流入就業者	平成12年 A	81,683	12,714	20,375	15,839	4,561	18,962	9,232
		平成17年 B	78,884	12,398	19,229	14,905	5,327	18,463	8,562
		増減率 (B-A)/A	-3.4	-2.5	-5.6	-5.9	16.8	-2.6	-7.3
	他市町村への 流出就業者	平成12年 A	53,454	10,329	10,348	6,593	2,472	17,576	6,136
平成17年 B		57,976	11,100	10,991	7,547	3,355	18,719	6,264	
増減率 (B-A)/A		8.5	7.5	6.2	14.5	35.7	6.5	2.1	
北九州市	他市町村からの 流入就業者	平成12年 A	67,097	10,744	13,054	10,875	3,638	19,903	8,883
		平成17年 B	65,365	10,576	12,688	10,538	4,412	18,772	8,379
		増減率 (B-A)/A	-2.6	-1.6	-2.8	-3.1	21.3	-5.7	-5.7
	他市町村への 流出就業者	平成12年 A	40,183	6,342	7,480	6,677	2,015	13,236	4,433
平成17年 B		43,995	6,800	8,164	7,070	2,590	14,949	4,422	
増減率 (B-A)/A		9.5	7.2	9.1	5.9	28.5	12.9	-0.2	
福岡市	他市町村からの 流入就業者	平成12年 A	218,780	31,909	61,188	50,763	12,154	39,823	22,943
		平成17年 B	216,534	31,194	61,260	48,586	13,624	39,722	22,148
		増減率 (B-A)/A	-1.0	-2.2	0.1	-4.3	12.1	-0.3	-3.5
	他市町村への 流出就業者	平成12年 A	60,013	10,887	10,220	11,286	3,530	16,258	7,832
平成17年 B		66,614	11,875	11,645	12,624	4,651	17,539	8,280	
増減率 (B-A)/A		11.0	9.1	13.9	11.9	31.8	7.9	5.7	

IX 大半の都市について主要な職業の全てで流出就業者数が増加

他市町村から流出する就業者数の平成 12 年～17 年の増減率を 13 大都市で比較すると、東京都区部及び大阪市以外は全てプラスとなっており、本市は福岡市とともに 3 番目に大きい増加率となっている。

就業者増減率を、主な職業別にみると、本市を始めとする大半の都市で主な 5 つの職業ともプラスとなっており、全職業にわたっての流出数の増加が目立っている。また、「専門的・技術的職業従事者」、「事務従事者」及び「サービス職業従事者」については全都市で流出就業者数が増加している。

【図 9、付表 8】

図 9 13 大都市の市（区）内からの流出就業者数の主な職業（大分類）別増減率
(平成 12～17 年)

